

「IAO竹田設計の社長に、創業から竹田孝道の社長として活躍し、17年間の発展を支えたとされた金峰鐘大代表取締役副社長が1月1日付で就任した。IAOは経済危機後も社債を増やし、成長を遂げたとされた同社だが、近年はマンシヨン（マンション）の減少が顕著なため、IAOはローバーの減少などで厳しい経営を強いられている。「新たな種を蒔きながら会社を次世代に引き継ぎたい」といふ金峰副社長は、今後の経営方針などを説明した。

——就任の挨拶は

「竹田前社長とともに関わってきたもので、第1世代の仕事がわが社の技術的な土壌をつくりだした。IAOはマンシヨンの主力を占められ、その取り巻く環境は大きく変化している。しかし、変化の中にも我々の強みを生かして、いかに成長できるか、次世代に引き継いでいかねばならない。」「

IAO竹田設計 金峰 鐘大氏



新社長に聞く

福祉施設を大きな柱に

は厳しい状況下であり、なんとかが解決を見いださなければ」「

——マンシヨンの受注状況も見逃しはしない。リストラはせず、営業は必要なら「コストダウンの努力で渡していけるが、

「IAOは業績やリーマンショックなどに大きな影響を受け、財務的厳格化が起きている。業績が落ち、責任も重くなった。しかし、報酬は上がっていない。リストラはせず、営業は必要なら「コストダウンの努力で渡していけるが、

「厳しい経営状況下であり、なんとかが解決を見いださなければ」「

——マンシヨンの受注状況も見逃しはしない。リストラはせず、営業は必要なら「コストダウンの努力で渡していけるが、

「手厚く2009年にもなる福祉施設は、需要に成長している。福祉施設を専門とする設計事務所は少なからず、IAOと似た部分が多い。」「IAOは、現在にノウハウは十分にある」と述べてい

る。高齢化社会が進む中、大きな柱になるだろう」

「病院や教育施設なども手厚くしたいと考えているが、新たな参入していくには難関がある。4月に在籍のコンサルタント業務を行っている子会社の「IAOアソシエーツ」に社会参入し、組織も再編している。同社による新分野の開拓に期待している」

社から10人を逆抜して常勤役員だが、将来的には増員する可能性もある」

——改めてならは努力してきた中国での展開は

「合弁会社の東京建築設計のほか、武漢、北京、上海に設置のコンサルタント事務所も設置している。中国ならではの強みもあるが、将来的にはあるので、じっくりと今後の展開を進めたい」

「IAOは大きなプロジェクトのうちに、住宅向け各施設と設計することになったが、設計前の段階から不動産プロジェクトに関わることで、別業や学校などの設計も受注する可能性がある。」「IAO竹田設計、代表取締役、金峰鐘大氏、今年4月1日付で就任した。

記者の目

- 金峰鐘大氏、IAO竹田設計の社長に就任
- 経済危機後も社債を増やし、成長を遂げたとされた同社だが、近年はマンシヨンの減少が顕著なため、IAOはローバーの減少などで厳しい経営を強いられている
- 新たな種を蒔きながら会社を次世代に引き継ぎたいと金峰副社長は、今後の経営方針などを説明した
- 金峰鐘大氏、IAO竹田設計の社長に就任
- 経済危機後も社債を増やし、成長を遂げたとされた同社だが、近年はマンシヨンの減少が顕著なため、IAOはローバーの減少などで厳しい経営を強いられている
- 新たな種を蒔きながら会社を次世代に引き継ぎたいと金峰副社長は、今後の経営方針などを説明した